

一二九四番

朝あさづく日ひ 向むかひの山やまに 月つき立てり見みゆ 遠妻とほつまを
待まてらむ人ひとし 見みつつ偲しのはむ

一二九五番

春かすが日なる 三笠みかさの山やまに 月つきの舟ふね出づ みやびをの
飲のむ酒杯さかづきに 影かげに見みえつつ